



# 第4回元気スイッチon!! あつまれ!あいちのじどうかん

サブタイトルが決定!!

## 第2回実行委員会議事録

H26年6月19日(木)

14:00~17:00

愛知県児童総合センター

(長久手市モリコロパーク内)

前回よりも仲間が増え、実行委員全員で13名になりました。参加のみなさん、市町の方々本当にありがとうございます。

宿題だった講師選出案もたくさんの方がリストに上がり、どの部会も約90分間の話し合いが、あっという間に感じました!!

活発な話し合いは良いアイデアをきっと生み出します。なんだか、素敵なチームになりそうな予感がします。

実行委員会の元気スイッチがon!!になりました!

出席者: 竹内逸子、鈴木美紀、野々垣実里、岡部節美、野田しのぶ、

鈴木節子、安藤智人、盛本みすい、渡辺宏明

事務局: 上野裕、阪野大介、高阪麻子

### プログラム

14:00 開会・あいさつ

14:10 新委員紹介

アイスブレイク

14:30 議題

大会サブタイトル決定

担当部会について

15:00 部会

16:45 全体シェア

16:55 まとめ

## 大会のサブタイトル決定「ありのままに」

### ありのままの子どもを感じよう ～向き合う、寄り添う、受け止める～

大会テーマ「子どもとのかかわり」を元に、大会のサブタイトルを考えてきました。  
たくさん出た意見の中から5つを選びました。

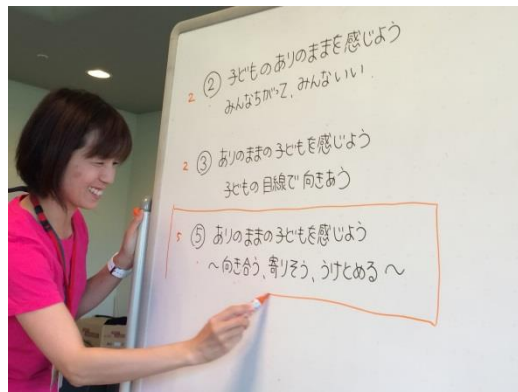
- 子どもの目線の先に何がある
- 同じ歩幅で歩けるように
- 「いつでもそばにいるよ」黙ったままで
- 子どもたちと 向き合う 寄り添う 感じ合う
- 子どものありのままを感じよう！

これらの案に対して、

- ・気がかりな子も、普段見逃してしまいがちな子も、すべて向き合おうという気持ちが表れている。
  - ・普段の活動にぴったりの言葉だ。
  - ・サブタイトルとしては、ちょっと重たいのでは？
  - ・ふたつの案を合わせると、どうか？
- など、意見がでました。

最終的に上記のタイトルに決まりました。

これをもとに、大会が進められます。迷った時、行き詰った時は、ここに帰って立て直します。  
いよいよ、大会のイメージが湧いてきました！！



## 広報・情報交換会部会録

担当:津島市 牛田富江  
豊橋市 安藤智人  
北名古屋市 十良裕樹

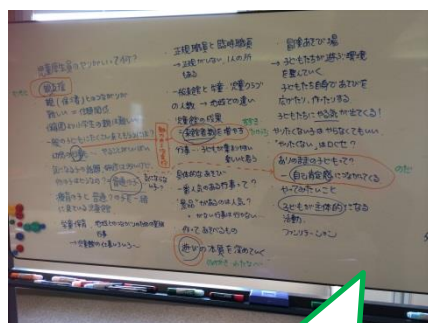


今回は  
さみしく  
事務局と  
2人ぼっち。  
でも楽しく  
打ち合わせ  
しました!!

- ・過去の元気スイッチon!!の印刷物等を参考に、今年度の制作物を検討しました。
- ・募集案内、当日プログラムについてはA3両面刷り程度として、報告書を冊子にする方向で進めます。また、全体会、分科会等のプログラムの決定が遅れてしまう見込みなので、それに合わせて募集案内のデザイン、印刷、配布のスケジュールを検討しなりました。
- ・募集案内の送付のデッドラインは9月半ばになるので、8月21日の実行委員会では実施要綱を固める必要があります。(各部会のみなさん、よろしくお願いします)
- ・PR手段としてインターネットを積極活用していきます。ブログ等での発信ができるよう準備を進めます。
- ・アピールカードは従来のかたちを踏襲。展示方法、場所については今後検討します。
- ・情報交換会については参加者同士、顔の見えるつながりができるようなものを企画する予定です。

## 分科会部会録

担当:長久手市 竹内逸子、清須市 鈴木美紀  
名古屋市 渡辺宏明、清須市 野々垣実里  
一宮市 野田しのぶ、弥富市 邨瀬知香子  
半田市 盛本みすい、弥富市 秦結香



話しだしたら、止まらない。  
いろんな児童館のいろんな  
子どもたち、親たち、職員た  
ち。どの課題もすべて取り  
上げたいところです！！

4つ分科会を実施するため、日頃気になっていること、困っていること、学びたいことを、それぞれの課題を挙げてみました。

- ・親支援  
保護者とのつながり、信頼関係、  
保育園に比べ親と接する時間が少ない。
- ・魅力ある児童館  
自由来館を増やしたい、児童館の成果(来館者数? 行事数?)、  
人気のある行事は?  
遊びに景観が必要か? 行事は人が集まりやすいが  
それだけでいいのか?  
・遊びの本質を深めていく  
子どもたちが遊ぶ環境づくり、子ども自身が遊びを作る広げる、  
子どものヤル気、「やりたくない子」について、「やりたくない」は口癖  
プレイパークの遊びのしかけ、子どもの力を引き出す能力
- ・気がかりな子  
普通の子(見逃しがちな子)はどうか?、療育と保育
- ・児童館の仕事いろいろ  
児童クラブ、地域とのつながりのための業務、正規職員がいない
- ・ありのままの子ども  
自己肯定感、子ども自身が主体的に活動、ファシリテーション、ありのままに・・・などなど

この中から、委員自身も学びたい、また一般的にニーズがありそうなものを選び、4つに絞りました。

- ・親支援 (盛本・秦)
- ・魅力ある児童館 (鈴木美・竹内)
- ・遊びの本質 (渡辺・野々垣)
- ・子どもの自己肯定感 (野田・邨瀬)

以降、これらをテーマにより深く掘り下げて、進めていきます。

## 全体会・セレモニ一部会録

担当:岩倉市 岡部節美  
稲沢市 鈴木節子

賑やかに、笑い声が  
たくさん聞こえていま  
したよ！！



今日は、全体会についての方針決定を主題としました。

講演会、パネルディスカッション等その形態を検討の結果、パネルディスカッションは、ファシリテーターの役割が重大な鍵となり、その選出から討論内容等構築に関わる事項が山積のため今後のスケジュールとも鑑み従来どおりの講演会とすることになりました。

そこで講演者の選出だが今月中に講師の方向性を決定することとし、まずは、委員の皆さんがピックアップしてくださった候補者をジャンル分けして、その方向性にかなう方々の順位付けをしていくこととしました。



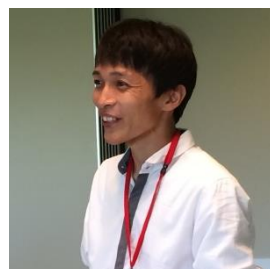
## 実行委員紹介(中編)



半田市 亀崎児童センター  
盛本 みすい  
やりがいて大切ですよね！



名古屋市 緑児童館  
渡辺 宏明  
元気スイッチオン！！



豊橋市 交通児童館  
安藤 智人  
なんでもやります！！

## 今日のアイスブレイク

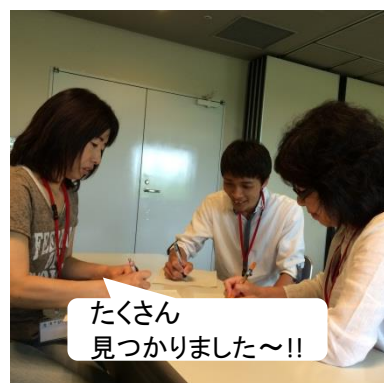
3人ずつのチームに分かれて、「共通点探し」をおこないました。5分間で3人の共通点を探します。出身、興味、血液型から乗っている車、着ている服・・・などなど。初めて会ったメンバーでも一致するととても嬉しいものです。チーム作りのきっかけにもなったかも、かもしれません。



共通点は明太子



回転寿司ッ〜♪



たくさん  
見つかりました〜!!

## 振り返って

実行委員の仲間がだんだん増えていくこの感じは、どんどん仲間力が高まっていく「ONE-PIECE」的なストーリーを思い出させます。チームとは「共同で仕事をする人々の集まり」です。同じセクションで同じ仕事を細分化し分担して仕事を進めていきます。次回以降は担当に分かれて、すべてメンバーが責任を持って進めていかなければいけません。ちょっとした事前の勉強も必要になると思います。各々が頑張りながらも、元気スイッチon!!スイッチ実行委員としても支え合ってやっていく、そんなチームになれるといいなあと思います。

もちろん、その成果をしっかりとらせるような大会を目指します！！

## 次回開催日

平成26年7月10日(木)  
14:00~17:00  
愛知県児童総合センター  
3階研修室  
「講師決定、  
当日スケジュール検討」